

## 令和3年度

### 劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

### 成果報告書

団 体 名	公益財団法人出雲市芸術文化振興財団	
施 設 名	出雲市民会館	
助 成 対 象 活 動 名	普及啓発事業	
内 定 額 ( 総 額 )	806	(千円)
	公 演 事 業	0 (千円)
	人 材 養 成 事 業	0 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	806 (千円)

### (3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	出雲未来図活性化事業 出雲フィルハーモニー・ アウトリーチ事業「音楽 と音楽家の出前 2021」	市内保育園等※	<アウトリーチ>※ 編成：弦楽四重奏他 出演：福田悠子ほかアカデミー講師  <DVD収録>※ 指揮：中井章徳	目標値	1,550
		令和3年10月～ 令和3年12月※		実績値	1,367

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
<b>1 ミッション</b> <b>芸術文化活動への市民の積極的参加の促進</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で、中止や規模の縮小を余儀なくされたが、感染症対策に十分配慮しながら、継続的な事業実施に努め、芸術文化活動への市民参加の機会創出に寄与することができた。 <b>芸術文化活動を実施する市民・団体等との連携</b> アウトリーチ活動では、教育機関や各種文化団体及び市民の参加・協力を得て取り組んだ。 <b>芸術文化を活用した社会参加機会の拡充</b> アウトリーチ事業は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、小学校及び教育支援センター限定で実施したが、障害者、高齢者施設や病院等からの要望もあり、社会的弱者とされる人達に芸術文化に触れてもらう絶好の機会と考える。
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<b>文化的意義</b> アウトリーチは1グループ4名前後の音楽家で編成し、児童・生徒対象施設では教育・鑑賞プログラムとして、音楽の仕組みや歴史、楽器体験などを取り入れたプログラムを構成した。参加者にとっては生の演奏を聴いたり触れたりする貴重な体験となり、音楽家にとっては自身のレベルアップにつながっている。 <b>社会的意義</b> 様々な環境下にある幅広い世代の市民が芸術文化活動に親しめる環境を整えることで、芸術文化を通じた、多様な価値観が尊重される潤いと活力あるまちづくりに寄与している。

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 3 普及啓発事業

##### 目 標

アウトリーチ事業は受入側の細かな希望を取り入れる体制を確立し、より充実した内容で実施できた。特に今年度からの編成として提案した保育所・幼稚園向けの編成は要望が多く、好評であった。劇場とアウトリーチ先の関係性の強化につなげるためのコンサートは新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、コンサートで上演を予定していた楽曲をDVDに収録し、アウトリーチ訪問先に送付し、演奏会への期待感を抱いてもらうことで今後の来場促進につながった。

※訪問が中止となった施設には予定編成での演奏を収録し贈呈した。

##### 指 標

「アウトリーチ事業」

・音楽家の出前事業を10月から実施したが、1月訪問予定の5施設は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

※2021年度は、福祉施設を除き、保・幼・小・中学校に限定して実施した。

※2020年度は、応募総数が少なかったため、比較する数値は2019年度のものを使う。

・2019年度は、応募は58件。実施は20件。

・2021年度は、応募は38件。実施は20件を予定したが、15件となった。

※応募の施設別割合は、保育所・幼稚園等76%、小・中学校等24%

※当初の目標数値は、小・中学校からの応募を全体の20%としていた。

※実施施設は過去の実施回数や音楽家の予定等を勘案して選定。

※選定した施設別の割合は、保育所・幼稚園等70%、小・中学校等30%。

「夢いっぱい♪春まちコンサート」

・島根県全域がまん延防止等重点措置の対象区域に指定されたことから中止とした。

・代替事業として、コンサートで予定していた演目を、練習会場としている出雲交流会館で「DVD収録」し、訪問した15施設にDVDを贈呈。

・アウトリーチが中止となった5施設には、出前プログラムで行う予定であった演目を加えて「DVD収録」し、贈呈した。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトリーチは、当財団が運営する「出雲芸術アカデミー講座運営事業」での講座内容とリンクさせながら、無理のない準備期間を計画したが、募集開始時期を早めて欲しい要望があったため、今後の検討材料としたい。コンサートとアウトリーチの一部は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、代替事業を実施するなど、その時々状況に対応しながら、フレキシブルな事業運営を心掛けた。

事業	当初事業期間	確定事業期間	変更が生じた事象及び要因
アウトリーチ	2021. 9～ 2022. 1	2021. 10/26～ 2021. 12/24～	募集後に実施日を決定するため。 ※新型コロナウイルスの影響により 2022 年 1 月以降は中止。
コンサート	2022. 2/11	中止	※新型コロナウイルスの影響による中止

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

新型コロナウイルスの影響で一部中止となったが、代替事業を実施するなど、その時々状況に対応しながら、フレキシブルな事業運営を心掛けた。

事業	当初予算	決算	変更が生じた事象及び要因
アウトリーチ	2,336,000 円	1,705,544 円	新型コロナウイルスの影響により 2022 年 1 月以降は中止 (5 施設)
コンサート			新型コロナウイルスの影響による中止 代替事業として DVD 収録を実施

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 1 資源について

##### (1) キーパーソン

出雲芸術アカデミー芸術監督（中井章徳氏）

芸術アカデミー創設以来、主に管弦楽に関して「音楽のまち出雲」を牽引してきている。第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞及び全部門の最優秀者に贈られるマスタープレイヤーズ大賞を受賞。このほか出身地倉敷市の芸術文化栄誉章や出雲市市民文化賞等を受賞。現在、京都市立芸術大学大学院博士課程作曲・指揮領域でさらなる勉学に励んでいる。現在45歳。  
コンポーザー・イン・レジデンス（平野一郎氏）及びアーティスト・イン・レジデンス（唐谷裕子氏）

中井芸術監督の構想により、両者は出雲芸術アカデミーの事業に関わっている。

##### (2) 出雲市民会館の建物設備

県内市町村では最大規模の施設で、迫りや仮設花道、また、所作台・松羽目、定式幕等を常備し、古典芸能をはじめ本格的な舞台公演ができる。2007年にロビー・ホワイエの増床等を行い来場者に親しみやすい空間となった。

#### 2 事業について

普及啓発事業

アウトリーチ事業

一方的ではなく双方向の関係を生み出すため、アウトリーチ先の参加者に鑑賞してもらうためのコンサートを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら実施できなかった。

## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

「音楽のまち出雲」は平成 22 年度に新たに制定された「出雲市芸術文化振興指針」で正式に位置付けられ、その際、芸術アカデミーは出雲の音楽活動の推進役として位置付けられた。出雲市の芸術文化振興施策を協議する出雲芸術文化振興会議の事業評価においても、出雲芸術アカデミー関係事業は高い評価を得ており、その講師が中心となって行うアウトリーチ活動は、地元の音楽振興に大きく寄与している。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

コロナ禍で小学校では芸術鑑賞教室を開催できないことから、「音楽家の出前事業」に多くの応募があり、実施できたことで、より事業内容の理解も進み、認知度も上がった。

小学校での実施の際は、子供達と一緒に校歌を共演することもあり、芸術鑑賞教室とは違った、身近な体験型事業として高評価を得られた。

保育園や幼稚園では、幼少期から生の演奏に触れることは、子供達の創造力・想像力やコミュニケーション能力を育むために効果的であると感じた先生方が多く、今後も要望が多いと思われる。

事業後のアンケートでは各施設から、来年度に向けて募集時期などに対して助言をもらうこともできた為、より効果的な運営に生かすことができる。